

第18回釧路市スポーツ振興財団理事長杯 U-10フットサルフェスティバル

開催要項

- | | | |
|----|------------|--|
| 1 | 目 的 | 日頃の練習成果を競い、試合を通してルールを取得すると共に、フットサルの楽しさを実感することを目指す。またフットサルを通じて健全な心身の発育・発達を図る。 |
| 2 | 名 称 | 第18回釧路市スポーツ振興財団理事長杯U-10フットサルフェスティバル |
| 3 | 主 催 | (一財)釧路市スポーツ振興財団 釧路地区サッカー協会
釧路フットサル連盟 |
| 4 | 主 管 | 釧路地区サッカー協会 4 種委員会 |
| 5 | 後 援 | 釧路市教育委員会 |
| 6 | 期 日 | 令和8年2月1日(日) |
| 7 | 会 場 | ウインドヒルくしろスーパーアリーナ |
| 8 | 参 加 資 格 | ① 令和7年度(公財)日本サッカー協会第4種・女子に加盟登録したチーム及び選手。
② 1チームから複数のチームで参加できる。
③ 選手エントリーはフリーとし、小学校4年生以下の編成とする。
④ 女子単独チームに限り5年生の出場を認める。
⑤ 本大会参加選手はスポーツ安全協会傷害保険もしくはこれに準ずる傷害保険に加入していること。
⑥ 帯同審判(フットサル4級以上)を1名以上帯同できるチーム。
帯同審判は審判業務を最優先とすること。 |
| 9 | 競 技 方 法 | ① リーグ戦及びトーナメント方式とする。
リーグ戦の順位は、勝点(勝ち3、引き分け1、負け0)・当該チーム、間の対戦成績、当該チーム間の得失点差、当該チーム間の総得点、グループ内の総得失点差、グループ内の総得点の順とし、同結果の場合はPK方式(3名)で決する。3チーム以上同率の場合は抽選で決する。
棄権したチームは当該試合の結果を0-5の敗戦とする。
② 試合時間は16分(8分ハーフ・ハーフタイム3分)のランニングタイムとする。
③ トーナメントで勝敗が決しない場合はPK方式(3名)にて次回進出チームを決する。 |
| 10 | 競技規則・競技会規定 | ① 競技規則は本年度(公財)日本サッカー協会制定の『フットサル競技規則』による。
② チーム構成は指導者4名、選手フリーとする。
③ 参加チームはリーグ戦の第1試合のみメンバー表を提出する。
第1試合に提出したメンバーが本大会のエントリー選手となる。
④ 本大会において退場させられた者は次の1試合に出場できない。
1試合停止以降の処置については、本大会の規律委員会(4種委員会規律委員)で決定する。
⑤ 本大会期間中、警告を2回受けた者は次の1試合に出場できない。 |

- ⑥ 試合球はフットサル3号球(公認球)とし、事務局で用意する。
- ⑦ 競技者のシューズはキャンバス、または柔らかい皮革製で、靴底がゴム、または類似の材質で出来ており、接地面が飴色、白色、もしくは無色透明のフットサルシューズ、トレーニングシューズ、または体育館用シューズタイプのもの。(スパイクシューズ及び靴底が着色されたものは使用できない。)なお、チーム役員にも適用する。
- ⑧ ユニフォームは1着以上用意する。ユニフォームチェックは行わず、ビブス対応も可とする。ゴールキーパーのビブス対応も認める。
- ⑨ 交代要員は交代の直前を除きユニフォームの色と異なるビブスを着用すること。
- ⑩ ピッチサイズは26m×16mとし、センターサークル半径2.5m、ペナルティエリア4/1円の半径5m、ペナルティーマークは5mとする。

- | | | |
|----|-----------|--|
| 11 | 参 加 申 込 | 年度当初のエントリーに変更がある場合は、1月19日(火)までに4種委員長に連絡する。 |
| 12 | メ ン バ ー 表 | プログラム用メンバー表は、1月13日(火)までに4種総務部長へメールで送付する。 |
| 13 | 組 合 わ せ | 1月14日(水)の監督会議にて抽選を行う。 |
| 14 | 開 会 式 | 行わない。 |
| 15 | 閉 会 式 | 1位トーナメントの優勝・準優勝・第3位・第4位のチームで行う。 |
| 16 | そ の 他 | <ul style="list-style-type: none"> ① 本大会の参加料は1チーム3,000円とする。 ② 前日の会場設営に、参加チーム(他地区チームは除く)より1名以上の協力を義務づける。 ③ 審判を帯同できない場合は、1試合毎に1名につき3,000円の不帯同審判料を事務局に支払う。 |